

きくようだい

2017

2

第16号

理事長 田中 孝明

新年あけましておめでとうございます。今年の正月は晴天に恵まれ穏やかな幕開けとなりました。これが今年一年を象徴するものでありますように祈りたいと思います。昨年の熊本は災難続きで余り思い出したくもない気分です。目を転じますと世界の情勢も大きく様変わりしている気が致します。イギリスのEU離脱やアメリカのトランプ大統領の出現には驚きました。そして、もっと驚いた事は世界的に有名な各国のメディア群が最後まで民意を読み違えていた事です。やはりマスコミも余り当てにならない事を再認識しました。前アメリカ大統領のオバマ氏は任期中にオバマケアと呼ばれる医療改革を行いました。これは日本では当たり前の皆保険制度です。アメリカには多くの保険のない人がいますので、これを解消する良い政策に思えますが、トランプ氏を始めとして何故かアメリカでは不人気ようです。理由は、複雑過ぎて理解できるのは担当の官僚だけだろうといわれる政策にあるようです。アメリカ人は自分が理解できないものを政府から押し付けられる事を非常に嫌う国民性だそうなので、反対が多いのだそうです。

翻って日本ではどうでしょうか。いよいよ医療・介護制度の変革が終盤に差し掛かっています。全ては高齢人口がピークに達すると言う2025年問題を見据えてのものですが、なかなか複雑な制度で国民に十分に理解されているとは思えません。

簡単に大きなものを二つ述べます。一つは病院や福祉施設が様々に区分けされ、それぞれに入院の条件や入院の日数が設定されています。来年には新類型と言われる新しい施設も誕生します。もう一つは地域医療構想という政策ですが、これも単に病院の病床が多すぎるから減らそうというものです。

政府は医療費が減りさえすれば事は済むのでしょうか、現場の私たちは患者さんや家族の方へ理解や納得がいくように説明せねばなりません。毎回、相当の時間と労力を要します。できれば政府も制度の変更をする度に、自らも国民へ詳しく説明する努力をして頂きたいと思ひます。またマスコミも全国民に関係のあるこのような事こそ、内容を吟味したり関係者に取材したりする努力をした上で報道をして頂けないものかと思ひます。私たちが従事して居ります医療という仕事は、医療者と患者さんとの信頼関係で成り立っています。最近その信頼関係が、頻りに変わる制度に振り回されて、段々と人間的な温もりが失われていく気がしますし、時には私たちが逆に恨まれたりする事態も起こっています。法令は守らなければなりません。しかしその前に、医の原点が何であるかを絶対に忘れない病院でありたいと思ひて居ります。本年もよろしくお願ひ致します。

2017.1.19

基本理念 人道に基づく 的確な医療を目指します。

基本方針

- 1 地域の医療・福祉に貢献します。
- 2 医療の質の向上に努めます。
- 3 信頼と安全の医療を提供します。

患者さんの権利と責務

- 1 医療の中で人として尊厳が保たれる権利があります。
- 2 治療や検査において十分な説明を受け、その選択には自ら決定をし、かつ医療者に意見を述べる権利があります。
- 3 診療に関する個人の情報を知ることができ、また保護される権利があります。
- 4 自らの健康に関する情報を正しく医療者に伝える責務があります。
- 5 病院内の秩序や医療者の指示を守る責務があります。



くまもとオレンジドクター、 オレンジナース養成研修に参加して

高齢化が進み、2025年には、高齢者の5人に1人が認知症となると見込まれています。熊本県では、養成率日本一の認知症サポーター養成や全国初の運転免許センターでの専門職配置など先進的な取り組みがされていますが、認知症への対応は、医療に携わる者にとっても、決して避けては通れない事柄となっています。

病院において、医療従事者の認知症の知識や対応能力は十分とはいいがたく、しばしば入院した認知症の人の行動・心理症状(BPSD)やコミュニケーションの困難さによる戸惑いや混乱、看護・介護負担の増加が見られています。

今回の研修は、認知症の人が、必要な医療及び適切なケアを受けることができる体制を構築するために、病院で働く医師や看護師をはじめとする医療従事者向けに実施されたもので、認知症対応推進医師(くまもとオレンジドクター)、認知症対応推進看護師(くまもとオレンジナース)を養成するものです。認知症に関する知識や対処法など認知症対応力向上に向けた内容で、田中洋平医師と看護師の坂本が受講しました。

今後、オレンジドクターやオレンジナースが、全職員に認知症研修を実施し、研修内容の詳細についてご報告させていただきます予定です。

2病棟師長 坂本美千代

くまもとオレンジドクター及び
くまもとオレンジナースがいる
病院証明書

養陽台病院
貴病院は認知症対応推進医師(くまもと
オレンジドクター)及び認知症対応推進
看護師(くまもとオレンジナース)を養成し、
病院内において病院勤務の医療従事者
向け認知症対応力向上研修を実施する
病院であることを証します。

平成28年12月11日

院長 濱島 郁夫



いつも
身近に...

薬局たより

このたびの熊本地震被害を心よりお見舞い申し上げます。

「医薬品を正しく使用すること」は病気を治したり、健康を維持したりする上でとても大切です。

薬(くすり)は反対から読むとリスク(危険)と読みます。

指示された用法・容量・タイミングを間違えば、副作用が出てしまい大変なことになります。例えば、インスリン注射を食直前に打つのを間違えて食前(30分前)に打てば低血糖症状が起こり重大な危機に陥ることもあります。

また、薬と薬・サプリメント(健康食品)・食べ物との相互作用で、効果が強くなったり、弱くなったりして期待される効果が得られない場合があったり、副作用が出たりすることもありますので、他の病院で買って飲んでいる薬があれば、その内容(同じ成分・同じ効果の薬=重複投薬・飲み合わせ等)をチェックさせていただきますので、お薬手帳やお薬情報をお持ちであればお見せ下さい。患者様が安全で安心して治療を受けられるように、日々努力して患者様に信頼される薬剤師を目指しています。患者様を中心に医師・看護師・栄養士などの他職種と連携を取りチーム医療に貢献してまいります。患者様が使用する薬と健康等に関する多様な相談に対応していき、地域の皆様に少しでもお手伝い出来るように頑張りたいと思っています。よろしくお願いいたします。

薬剤課 江藤裕子



避難訓練を実施しました。

平成28年12月20日に避難訓練が実施され患者様、菊池広域連合南消防署の方々にご協力頂き訓練を行いました。今回は、地震発生後の火災を想定し、①院内の安全確認②火災発生・通報③初期消火④担架を使用した避難⑤水消火器訓練を行い、通報では実際に119番にかけるなど実践に沿った内容となりました。消防署の方からは、普段から避難経路や消火器類の確認が重要であるとのことでした。今回の訓練では、地震発生後の火災ということで改めて防災意識を高める大切な学びとなりました。

総合管理課 箸本省二



通所 リハビリテーション だより

通所リハビリでは11月に8回目となるカラオケ大会を行いました。皆様、一生懸命に練習してこられブロ並みの歌声でした！飛び入りの外来患者様の参加や職員の熱のごもった出し物もあり、とても楽しい時間を過ごすことができました。ご利用者随時募集中です。まずはお気軽に見学にお越しください！



居宅ケアマネ 岩崎 栗原

菊陽台病院通所リハビリテーション
☎096-232-1193

長寿の祝い 敬老の日

当院では入院中に100歳になられた方が4名おられます。菊陽町から後藤町長が長寿のお祝いに来院されました。これからも元気に過ごしていただけるようスタッフ一同全力でお世話させていただきます。おめでとうございます。



大正琴 ボランティア

平成28年9月28日 琴和会より大正琴のボランティアに来ていただきました。どれも懐かしい曲ばかりで大正琴を習われていた患者様もおられ、皆さんとても喜ばれていました。



開院記念

ミニバレー大会

平成28年9月29日(木)菊陽中部小学校体育館にて開院記念ミニバレー大会が開催されました。参加者96名12チームに分かれての戦いでした。順位ごとに病院から賞品贈呈がありました。



開催ならず...

ソフトボール大会

平成28年11月27日(日)菊陽町職場対抗ソフトボール大会が開催の予定でしたが、残念ながら、雨の為中止となり、ジャンケンにて順位が決まりました。

ソフトボールは中止となりましたが、その後予定していた、パーベキューは予定通り行いました。

来年も出場し優勝を目指します!!!



大盛り上がりでした!

忘年会

平成28年12月3日(土)PM 7:00~ホテルニューオータニにて第40回菊陽台病院忘年会が開催されました。大変な事の多い1年でしたが、それらを吹き飛ばす程、大いに盛り上がりました。



診療科目

- 一般医療 整形外科・内科・皮膚科・リハビリテーション科・リウマチ科
- 緊急医療 救急指定病院
- 在宅医療 通所リハビリテーション・訪問看護ステーション菊陽台・居宅介護支援事業所

外来担当医

H29.1月現在

		月	火	水	木	金	土
内科	午前	光山	田中洋平	光山	田中洋平	光山	高橋
	午後	田中洋平	光山	田中洋平	光山	田中洋平	当直
整形外科	午前	田中院長	原田	田中院長	原田	田中あづさ	田中院長
	午後	原田	田中あづさ	田中あづさ	原田	原田	当直
皮膚科	午前	園田	休診	園田	園田	休診	園田
	午後	休診					

外来診療時間

月～金曜日 [午前] 9:00～12:30まで
[午後] 13:30～17:10まで
土曜日 [午前] 9:00～12:30まで

※救急指定病院・24時間受付けておりますので、緊急の場合はこの限りではありません。

キャロッピー号です。

- 日本医療機能評価機構病院
- 日本医師会認定産業医
- 災害時支援協力医療機関
- 病院群輪番制病院



菊陽町巡回バス「キャロッピー号」
中央循環線をご利用下さい。



(交通アクセス)

- バス 菊陽町巡回バス キャロッピー号 中央循環線 菊陽台病院
- JR JR原水駅下車 徒歩16分
- 車 JR原水駅より4分、阿蘇くまもと空港より16分



医療法人社団 熊本清仁会

菊陽台病院

〒869-1103 熊本県菊陽郡菊陽町大字久保田2884番地

☎096-232-1191 ☎096-232-4389
<http://www.kikuyodai-hospital.com/>

きくようだい 第16号(平成29年2月発行)
[発行] 医療法人社団 熊本清仁会 菊陽台病院 広報委員会